

問1 日本の戦後政治の歩みにおいて、1972年の沖縄返還から1993年の非自民連立政権の誕生までの期間（約21年間）に起こった出来事として、適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった
2. 日ソ共同宣言が調印され、日本の国際連合への加盟が認められた
3. 日中共同声明が調印され、日本と中国の国交が正常化した
4. サンフランシスコ平和条約が調印され、日本の主権が回復した

問2 1972年から1990年にかけての世界情勢の変化において、1989年は歴史的な転換点となりました。この年、アメリカとソ連の首脳が会談し、冷戦の終結を宣言したことによってもたらされた状況として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。
2. アジア・アフリカの植民地から独立した諸国が集まり、平和十原則を採択して第三勢力として結束した。
3. マーストリヒト条約が発効し、ヨーロッパ諸国の経済的・政治的な統合を目的としたヨーロッパ連合（EU）が発足した。
4. 毛沢東を主席とする中華人民共和国が成立し、東アジアにおいて社会主義の影響力が大きく拡大した。

問3 1990年から1992年にかけての国際連合加盟国数の推移を見ると、短期間に加盟国が急増しています。この背景として最も適切な歴史的な事象はどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）

1. ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと
2. ロシア革命が起こり、ソビエト社会主義共和国連邦が樹立されたこと
3. アフリカの年と呼ばれた時期に、多くの植民地が独立を果たした
4. ドイツの統一に伴い、東西に分かれていた国家が一つにまとまったこと

問4 1955年から約38年間にわたって自由民主党が政権を維持し続けた「55年体制」が崩壊した背景と、その後の状況について述べたものとして最も適切な説明を選びなさい。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. ベルリンの壁崩壊などの冷戦終結という国際情勢の変化や、政治への不信が高まったことで自由民主党が過半数を割り、非自民の連立政権が誕生した。
2. 日米安全保障条約の改定をめぐる対立が激化したことで、社会党を中心とする連立政権が樹立され、自由民主党は解散に追い込まれた。
3. ベトナム戦争の終結を受けて、防衛力の強化を求める国民の声が高まった結果、自衛隊の設置とともに自由民主党の単独政権が確立された。
4. アメリカ同時多発テロ事件の影響で国内の経済が混乱し、それに対応できなかった自由民主党に代わって、社会党が単独政権を樹立した。

問5 原爆ドームは、核兵器廃絶と恒久平和を求める象徴となっています。この場所をめぐる現代の動向として、2016年5月に現役のアメリカ大統領として初めて広島を訪問し、平和記念公園で演説を行った人物は誰ですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. バラク・オバマ
2. ドナルド・トランプ
3. ジョー・バイデン
4. ビル・クリントン

問6 1989年に地中海のマルタ島で行われた、アメリカとソ連の首脳による会談の内容として、歴史的に最も重要な説明はどれですか。（2023年 福井公立入試 類似）

1. 第二次世界大戦後から続いていた冷戦の終結を正式に宣言した
2. 第二次世界大戦の戦後処理について、連合国の首脳が初めて協議した
3. 国際連合の設立を決定し、安全保障理事会の枠組みを構築した
4. ドイツの無条件降伏を求め、戦後のドイツ分割統治を合意した

問7 冷戦終結に関連する一連の出来事をまとめた記録において、1989年の東欧民主化や冷戦終結宣言のあと、1990年に実現した、分断されていた国家が再び一つになった出来事はどれですか。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. ドイツの統一
2. ソビエト連邦の解体
3. ベルリンの壁の建設
4. キューバ危機の発生

問8 一九九一年にソ連が解体に至った主な背景として、当時の国内状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 社会主義体制のもとで経済成長が著しく、国民がさらなる自由を求めたため
2. 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため
3. 他国からの大規模な武力攻撃を受けて、連邦政府が機能を停止したため
4. すべての共和国が連邦の維持を強く望んだが、国際連合の命令により解体されたため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった	ベルリンの壁の崩壊は1989年の出来事であり、1972年（沖縄返還）から1993年（55年体制の崩壊）の間の期間に合致しています。日ソ共同宣言は1956年、日中共同声明は1972年（沖縄返還と同年に発表されたが、返還よりも前の出来事）、サンフランシスコ平和条約は1951年の出来事であるため、この期間の出来事としてはベルリンの壁崩壊が正解となります。
問2	答え 1 アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。	1989年のマルタ会談は、第二次世界大戦後の世界を「西側」と「東側」に二分していた冷戦構造を終わらせる歴史的な出来事でした。これにより、軍備拡張競争や一触即発の緊張状態が和らぎ、翌1990年のドイツ再統一や、その後のソ連解体へとつながる国際秩序の激変を象徴するものとなりました。他の選択肢は、1949年の中国共産党による国家成立や、1955年のバンドン会議、1993年のEU発足など、異なる時期の出来事に関する記述です。
問3	答え 1 ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと	冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊を経て、1991年にソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が解体されました。これにより、ウクライナや中央アジアの諸国など、それまでソ連の構成員であった多くの共和国が独立国家となり、それぞれが国際連合に加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が劇的に増加しました。
問4	答え 1 ベルリンの壁崩壊などの冷戦終結という国際情勢の変化や、政治への不信が高まったことで自由民主党が過半数を割り、非自民の連立政権が誕生した。	自由民主党（自民党）と日本社会党の対立を軸とした「55年体制」は、1989年のベルリンの壁崩壊に象徴される冷戦の終結や、当時の政治汚職事件に端を発した国民の政治不信などを背景に、1993年に終わりを迎えました。1993年の総選挙で自民党が過半数を割り、細川護熙を総理大臣とする非自民の8政党による連立政権が発足したことは、戦後日本の政治史における大きな転換点です。
問5	答え 1 バラク・オバマ	2016年5月、三重県での伊勢志摩サミット出席に合わせて、バラク・オバマ大統領（当時）が被爆地である広島を訪問しました。これは現役のアメリカ大統領として史上初めての出来事であり、原爆ドームが見える平和記念公園での献花と演説を通じて、「核兵器のない世界」を追求する決意が語られました。この訪問は、日米関係の深化と国際的な核廃絶への機運を高める歴史的な転換点となりました。
問6	答え 1 第二次世界大戦後から続いてきた冷戦の終結を正式に宣言した	アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が会談し、長きにわたった東西対立（冷戦）の終わりを世界に示しました。この会談は、1989年のベルリンの壁崩壊といった東欧の民主化の波を受けて行われた歴史的な転換点です。選択肢にある戦後処理やドイツ分割についてはマルタ会談やポツダム会談の内容であり、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 ドイツの統一	1989年11月に東西冷戦の象徴であった「ベルリンの壁」が崩壊したことを受け、翌1990年には資本主義体制の西ドイツが社会主義体制の東ドイツを吸収する形でドイツ統一が果たされました。これはヨーロッパにおける冷戦構造が消滅したことを象徴する出来事です。
問8	答え 2 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため	一九八〇年代後半から、ソ連ではペレストロイカ（改革）と呼ばれる政治・経済の立て直しが進められました。しかし、この改革が経済的な混乱や食料不足を招き、政府への不満が高まったことで、連邦からの離脱を求める各共和国の独立運動に拍車がかかることとなりました。